

**「ひのはるか」原草の特徴と取り扱いの留意点**

「ひのはるか」の原草は、「ひのみどり」「岡山3号」と比較して茎が軟らかく、根元に近い部分の充実度が低いため、収穫・乾燥収納時に茎が曲がったり根元が折れやすい。茎や根元が曲がった「ひのはるか」の原草は、製織時に織り傷が発生しやすいので、「根曲がり」を矯正したり、「根突き」「根切り」などの調整作業を丁寧に行なう必要がある。

農業研究センターい業研究所加工研究室 (担当者: 淵上国弘)

**研究のねらい**

「ひのはるか」は、「ひのみどり」より後の7月15日以降に収穫する晩刈栽培用として奨励品種に採用され、平成21年から収穫・畳表加工が開始されている。「ひのはるか」は、長茎乾重率が高く「ひのみどり」と同様に高品質畳表向け品種として期待されているが、茎が軟らかく(表1)、「根元が折れやすい」「取り扱いにくい」という指摘があり、品種の特性を把握した上での製織技術の確立が求められている。そこで、「ひのはるか」の製織にあたって取り扱い方法を明らかにするため、普通刈及び晩刈栽培原草(乾燥茎)について分割重・分割茎の茎の太さを測定し比較検討を行なった。

**研究の成果**

1. 晩刈栽培「ひのはるか」の原草は普通刈栽培に比べて、茎の充実度(いぐさ原草の単位体積当りの重量)は長さは130cm以上の茎よりも120~130cmの茎で高くなる(図1)。
2. 1本の原草は、いずれの品種も分割重では30~50cmの部位が最も重い、茎の太さは70~90cmの部位が最も太い。また、根元部分(0~10cm)の茎重は先端に近い部分(100cm~)よりも重い、茎の太さは細い。「ひのはるか」の茎の太さは、「ひのみどり」よりも根元(0~50cm)及び先端の部分は茎がやや太いものの、「岡山3号」より細い(図2, 図3)。
3. 「ひのはるか」の充実度は、根元から70cm以上の部分は「ひのみどり」とほぼ同程度であるが、50cm以下では[ひのみどり]より低くなり、根元に近くなるにつれて差は大きくなった。このことは、「ひのはるか」は他の2品種と比べて、茎の根元が折れたり茎が曲がりやすくなる要因の一つと考えられる。根揃いが悪く曲がった「ひのはるか」の原草は、製織時に「いみち」を直進しにくく、「いみち」からはずれたり縦糸(経糸)に当たったりして「い止め」まで完全に送り込まれないことがあり、「中止り」や「並びい」などの織り傷が生じやすい。そのため茎が折れたり曲がらないように製織時の原草の取り扱い作業を丁寧に行なう必要がある(図4)。

※「中止り」<sup>なかどま</sup> : ロールより射出されたいぐさが直進せず縦糸に当たるなどして反対側に届かないか、「い止め」ではね返ったりしていぐさが途中で止まること。

※「並びい」 : 製織中に片方のい分け装置から2本以上同時にいぐさが供給されるか、2本以上並んで織り込まれていること。

**普及上の留意点**

1. いぐさ原草調査は、い業研究所で栽培した普通刈・晩刈いぐさを使用したものである。
2. 品種の特性に加えて作期の違いや肥培管理、ほ場の状態によって原草の性質が異なってくるので、製織前には必ず「サンプル選別」を行ない選別長さの検討・確認を実施する。特に最長茎長が長い「ひのはるか」原草は、最長茎を含む選別原草を「根突き」後に「根切り」を多めにしてその次の長さで選別した原草と混ぜて製織すると「元白」(畳表の端部に白っぽい茎が目立つ状態)も少なくなる。
3. 「根曲がりいぐさの矯正法」については農業研究成果情報No. 36 (平成12年6月)に掲載。

【具体的データ】

No. 503 (平成23年5月) 分類コード05-07 熊本県農林水産部

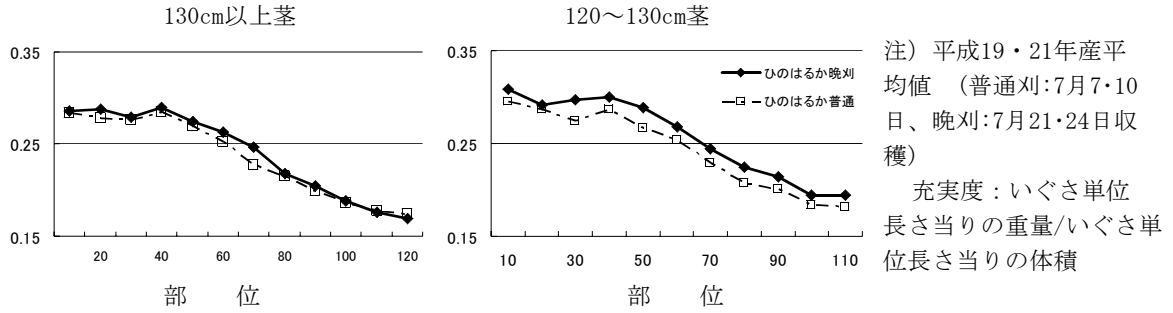


図1 晩刈栽培と普通刈栽培における「ひのはるか」分割茎ごとの充実度 (g/cm<sup>3</sup>)

注) 平成19・21年産平均値 (普通刈:7月7・10日、晩刈:7月21・24日収穫)  
 充実度: いぐさ単位長さ当りの重量/いぐさ単位長さ当りの体積

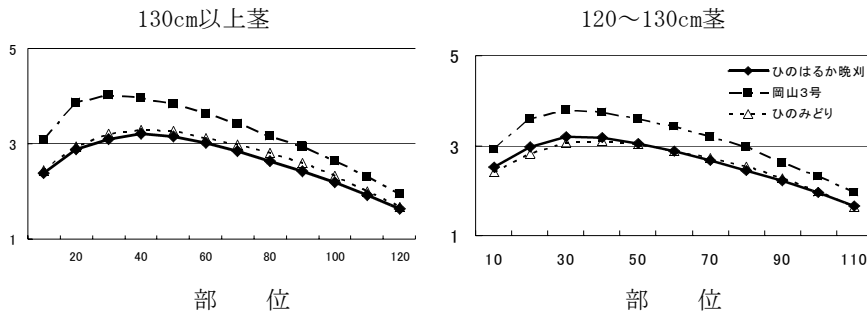


図2 各品種の選別長さ別の10cm分割茎の重量 (g/100本)

注) 平成19、21年平均、重量は茎の根元から3cm以上を10cmごとに切断した茎100本重を示す

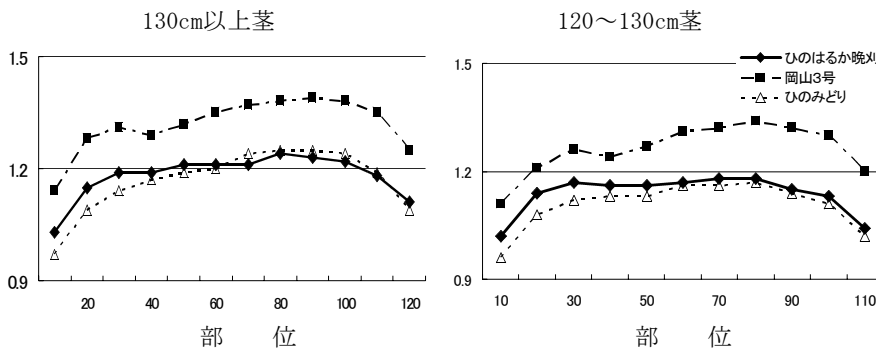


図3 各品種の選別長さ別の10cm分割茎の茎の太さ (mm)

注) 平成19、21年平均粒径は根元から3cm以上を10cmごとに切断した茎の中央部を30本測定。

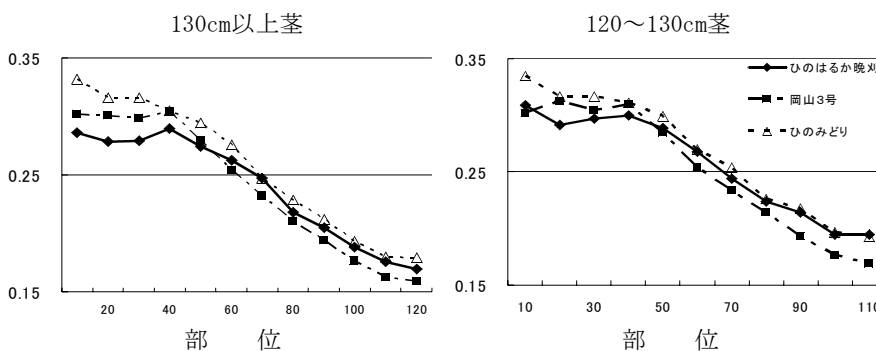


図4 各品種の分割茎ごとの充実度 (g/cm<sup>3</sup>)

注) 充実度: いぐさ単位長さ当りの重量/いぐさ単位長さ当りの体積

(参考) 表1 普通刈栽培における特性調査の品種比較 (い業研究所:平成11~17年平均)

項目	1株最長茎長 (cm)	1株茎数 (本)			長茎乾重率 (%)		硬度 (%)	
		60cm以上	105cm以上	120cm以上	105cm以上	120cm以上	105~120cm	120cm以上
ひのはるか	137	142	66	34	57	32	63.0	67.9
ひのみどり	131	172	63	25	46	22	67.9	72.4
岡山3号	134	145	62	28	54	26	68.2	74.3

注) 平成18年度「農業の新しい技術」掲載より引用